

かきつばた再生へ...

史跡八橋かきつばたまつり

4月25日(木)~5月19日(日)

伊勢物語の昔から、訪れる多くの人々を魅了してきた歴史と伝説の地八橋のかきつばた。美しいかきつばたの花を堪能しながら、楽しいひと時をお過ごしください。まつり期間中は観光ガイドボランティアによる案内を行っています。毎夜午後9時まで夜間照明を行います。

■開催場所 八橋かきつばた園（八橋町寺内61-1 名鉄「三河八橋駅」下車徒歩8分）
■問合せ 観光協会（経済課内） ☎(83)1111 内線211・212

かきつばた再生に向けて

市の花であるかきつばた。古くから八橋のかきつばたは名所と知られ、多くの皆さんに愛されてきました。

かきつばたが池いっぱい咲き誇る様子は、紫の絨毯のよう表現されるほどでした。

しかし、ここ数年は生育不良で花が咲かずに立ち枯れてしまいかきつばたが大量発生する危機に陥っていました。そのため、昨年は「まつり」と銘打つてのPRを控えていただきました。

再生協議会の設立

今年こそは、美しいかきつばたをご覧いただくとうと、昨年、愛知県と八橋かきつばた園を管理して下さる八橋旧蹟保存会とともに「八橋かきつばた再生協議会」を立ち上げ、かきつばた再生に向けて奮闘してきました。

立ち枯れ病

かきつばたが育たない原因とされる立ち枯れ病。かきつばたから検出されたピシウム菌というカビの一種は、苗に感染すると、葉が黄色くなり、急激に生育が衰え始め、ついには株全体がしおれ、枯死してしまいます。そして、病原菌の感染力は大変強く、他の苗までも影響してしまいます。

感染源を絶つ

愛知県農林水産部・西三河農林水産事務所から指導を受け、まずは伝染源となる感染された苗は全て処分しました。しかし、伝染は収まらず、他の苗にも症状が現れ続け、ここまですべての苗を抜くという苦渋の行動を何度も繰り返しました。

そして、殺菌剤を株ずつ株周りに散布し、さらにかきつばたが気持ちよく育つ環境づくりとして、池の土壌の入れ替え、池全体の水流をよくするために溝をつくる工事を行いました。今年、苗を植える前に堆肥をまき、病原体に対抗できる良い菌を増やし、土を肥やす取り組みも実施しました。

再生の道はつづく

年間をとおして、八橋旧蹟保存会の皆さんを中心に地域の皆さんが、日々活動してくださったおかげで迎える今年のまつり。正直、今年もまだ完全復活までとはいきません。

地域の皆さんが、かきつばたの状態を毎日のように観察・記録し、一株一株、大切に育ててくださっています。ぜひ、今年のかきつばたをご覧いただき、これからの八橋のかきつばた再生に向けてあたたかく見守っていただけますようお願いいたします。

これまで試行錯誤を繰り返し、みんなで対策をとりながら原因究明に取り組んできました。現在3月下旬頃では、かきつばたは良い方向に進んでいると感じており、昨年よりきっと良い花が咲くと信じています。私たち会員も、池いっぱいにかきつばたが咲くことを毎日願いながら活動しています。ぜひご覧いただき、これからの八橋のかきつばたを応援していただきたいと思ひます。



八橋旧蹟保存会
会長 平澤信幸氏



ちりゅっぴが八橋かきつばた園でお散歩をします。ぜひ、会いに来てください。

▶とき 5月5日(祝) ①午前11時から ②午後2時から (各回30分程度) ※雨天の場合は中止

▶ところ 八橋かきつばた園内



前回の推薦作品 福島宏治氏「庭園を散策」

第63回史跡八橋かきつばたを写す会 特別撮影会

「ミスかきつばた」4人をモデルに特別撮影会を開催します。

「和服姿のミスかきつばた」と華麗に咲くかきつばたをマッチさせたすばらしい作品のご応募をお待ちしています。

- ▼とき 5月9日(木) 午前10時～午後2時30分(小雨決行)
- ▼ところ 八橋かきつばた園
- ▼課題 「八橋かきつばた」を広く紹介し、観光宣伝に使用できるもの
- ▼賞 入賞作品には、主催および後援団体から、賞状・賞品等が贈られます。
- ▼応募規定
・カラー印画 四ツ切(四ツ切ワイド、A4サイズ不可)

特別撮影会

- ・デジタルカメラ作品は可、合成加工は不可
- ・入賞作品の使用権は主催者に帰属し、主催者が作成するポスター、チラシ、ホームページ等に使用します。
- ・応募作品は未発表および発表予定のないものに限りません。
- ・応募作品は返却しません。
- ▼応募方法 5月31日(金)までに観光協会(〒472-8666 住所不要 市役所経済課内)へ。
- ※応募用紙は、経済課窓口および当日会場で配布するほか、市ホームページからもダウンロードできます。

イベント情報

とき	行事名	ところ
4月13日(土) 10:00~15:30	第54回ミスかきつばたコンテスト	知立文化広場
4月29日(祝)11:00	在原業平毎歳忌	無量壽寺
5月3日(祝)~6日(休) 11日(土)・12日(日) 10:00~15:00	大茶会	茶室「燕子庵」・野点
5月5日(祝) 9:30受付 13:00句会	俳句会	(受付) 無量壽寺 (句会) 八橋かきつばた園・知立文化広場
5月5日(祝) ①11:00から ②14:00から	知立市マスコットキャラクター「ちりゅっぴ」登場	八橋かきつばた園
5月6日(休)~8日(水) 9:00~16:00	八橋かきつ盆栽展示会	日吉山王社境内
5月7日(火) 11:00開演	大正琴演奏会	八橋かきつばた園
5月9日(木) 10:00~14:30	第63回史跡八橋かきつばたを写す会	八橋かきつばた園
5月12日(日) 10:00~15:00	短歌大会	知立文化広場
5月12日(日)	日吉山王社大祭	日吉山王社境内
まつり期間中	茶会 (10:00~15:00)	茶室「燕子庵」
	花と盆栽即売会(5月1日(祝)~15日(水))	無量壽寺境内
	夜間照明(毎日・日没~午後9時)	八橋かきつばた園

知立八橋かきつばた短歌大会 作品募集

作品募集

伊勢物語の在原業平の歌や尾形光琳の燕子花図屏風で有名な史跡八橋の認知度を高め、また、短歌の楽しさを多くの人に知ってもらうため開催します。投稿作品をまとめた「詠草集」から、当日大会参加者で3首ずつ互選のうえ、互選取得票発表・選評を行います。

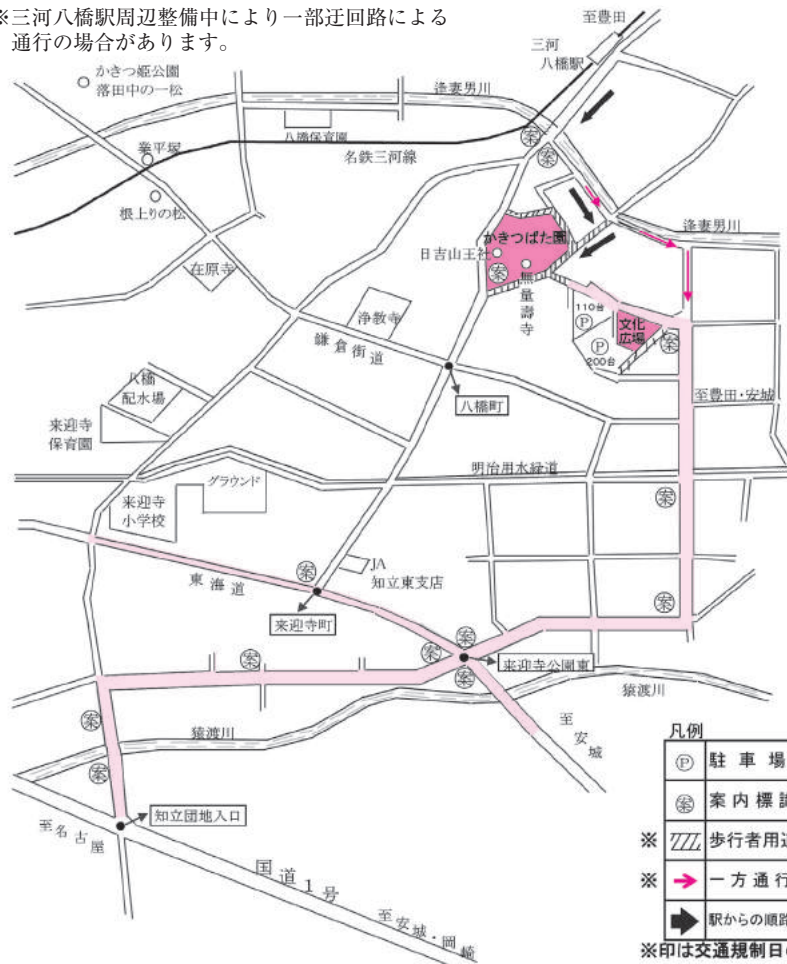
- ▼ところ 知立文化広場
- ▼会費 500円(昼食代含む・当日集金)
- ▼賞 市長賞、市議会議長賞、観光協会賞
- ※入賞は大会当日の出席者に限ります。
- ▼応募規程 知立八橋およびかきつばたに関する作品
たにに関する作品
※自作未発表作品で、ひとり一首(投稿無料)
※投稿していただいた作品は、作品集「詠草集」に収録し、投稿者に配布します。
- ▼応募方法 4月30日(休)(当日消印有効)までに文化協会短歌係(〒472-0026 上重原町間瀬口116番地 文化会館内)へ。
- ▼問合せ 立春知立短歌会 荒木朋子 (☎82)2320)





八橋かきつばた園周辺案内図

※三河八橋駅周辺整備中により一部迂回路による通行の場合があります。



Ⓟ	駐車場
Ⓢ	案内標識
※	歩行者用道路
※	一方通行(車)
➡	駅からの順路(人)
※印	は交通規制日のみ

史跡八橋かきつばたまつり 交通規制と駐車場有料日のお知らせ

期間中の5日間は左案内図のとおり交通規制を実施し、駐車場は有料となります。ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼駐車場有料日 5月3日(祝)～6日(休)・12日(日)

▼駐車場使用料金

(大型自動車) 1回1千500円 (普通自動車) 1回300円

かきつばたまつり交通規制日(駐車場有料日)
5月3日(祝)・4日(祝)・5日(祝)・6日(休)・12日(日) 午前8時～午後5時

参加者募集

第3回

ガイドとまち歩き 池鯉鮒ぶらっとツアー

八橋かきつばたツアー

市内には花の名勝や史跡など多くの見どころがあります。これらの見どころを観光ガイドボランティアといっしょに廻りませんか。

- ▶対象 どなたでも(小学生以下は、保護者同伴)
- ▶定員 15人(先着順・最少催行人数4人)
- ▶参加費 無料
- ▶申込み 4月16日(火)～23日(火)に経済課商工観光係(☎95-0125)へ。



5月5日(祝)

午前10時15分～11時15分(予定)

コース

観光交流センター(集合)



馬市の碑・東海道松並木



両口屋本舗(おみやげ)



八橋かきつばた園(解散)

当日は、歩きやすい服装、靴の着用をお願いします。

